

広葉樹の苗木 900本を植樹

植樹祭は、水資源や自然環境の保全に大切な役割を持つ森林を次世代に残そうと、市と県が主催し平成18年から実施しているものです。募集が集まった植林ボランティアと合わせ、当日は市内外から約150人が参加しました。

植樹祭の開会式では布施孝尚市長がいささつし「木々の成長は日々見えるものではありませんが、以前に植樹した苗木は確実に大きくなっています。皆さんも折々にこの山を訪れ、木々の成長と皆さんの成長を実感してください」と述べました。

参加者は、市有林東側の斜面約0・45haの敷地に、コナラやクヌギ、ヤマザクラなど広葉樹900本の苗木を一本一本植えていきました。今年は、参加者がそれぞれの思いを標柱にした「わたしの記念樹」を実施。14本の標柱が植樹した苗木の隣に建てられました。

2時間かけて植樹を終えた参加者には、登米産の環境保全米で握ったおにぎりや記念品としてもくもくハウスの杉矢羽集成材のうちわ、非常用飲料水袋などが配られました。

植樹が行われた市有林。周辺には針葉樹や広葉樹のある豊かな森が広がります



植樹には募集が集まったボランティアだけでなく、地元の方々も参加



植樹は、石や木の根を取り除き一つ一つ穴を掘る力作業です



【上】「わたしの記念樹」では「東日本大震災復興記念」としてされた標柱も建てられました
【下】平成18年に植樹した杉の苗木は3メートルを超える高さで成長しました



植樹に飛び入り参加した謎のヒーロー？子どもたちの関心を集めました



植樹終了後には参加者全員に昼食用のおにぎりと記念品が配られました

「わたしの記念樹」参加者の声

「小学校入学記念」

渡邊 宏紀さん（市内追町在住）
米川小学校に勤務しています。児童たちが参加しているので、この植樹祭には毎年参加しています。今年は娘の彩（あや）さんが4月に小学校に入学したこともあって、家族で参加しました。標柱は「小学校入学記念」です。子どもが大きくなったら、家族でまた一緒に来たいですね。



「結婚20周年記念」

下川原 忠啓さん（仙台市在住）
仙台から妻（幸江さん）と参加しました。今日の植樹祭はインターネットで森林関係のイベントをチェックして見つけました。記念の標柱は「結婚20周年記念」。今日の植樹は久々に夫婦での共同作業となりました。



植えるのに苦労しましたが、いい記念になりました。

「登米市引越し記念」

及川 陽一さん（市内追町在住）
標柱は「登米市引越し記念」です。昨年3月に震災があり、親が心配だったので今年の4月に地元に戻ってきました。妻（綾さん）も登米市出身（南万）です。今日は家族5人で参加しました。元気な姿をみんなに伝えたいですね。

